

亀岡市の環境に関する
市民アンケート・事業所アンケート
調 査 結 果

1 アンケート調査の概要

(1) 調査方法

- ①無作為抽出による郵送
- ②市ホームページのアンケートフォーム（以下「WEB調査」）

(2) 調査対象

- ①市民アンケート
 - ・郵 送 調 査 18 歳以上の市民 3,000 人
 - ・WEB 調査 18 歳以上の市民
- ②事業所アンケート
 - ・郵 送 調 査 市内の事業所 50 箇所
 - ・WEB 調査 市内の事業所

(3) 実施時期

発 送：令和 2 年 10 月 22 日（木）

投函締切：令和 2 年 11 月 3 日（火）

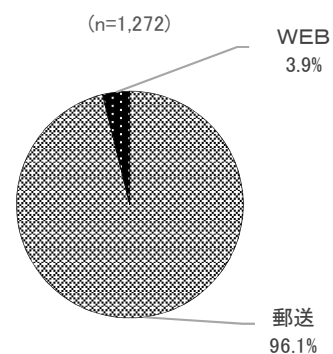
(4) 調査項目

質問内容	市民	事業所
基本項目	○	○
身近な環境について	○	
環境に対する取組について	○	○
リサイクル問題について	○	
地球温暖化について	○	○
環境問題への関心について	○	○
亀岡市の環境に関する取組について	○	
行政が取り組むべき環境施策について	○	○

(5) 回収結果

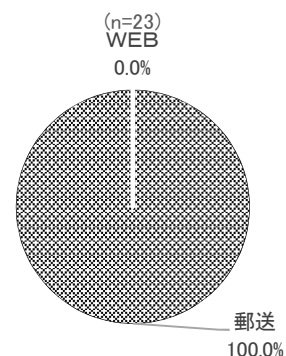
①市民アンケート

	配布数	回収数	回収率
郵 送	3,000 件	1,223 件	40.8%
WEB	—	49 件	—



②事業所アンケート

	配布数	回収数	回収率
郵 送	50 件	23 件	46.0%
WEB	—	0 件	—



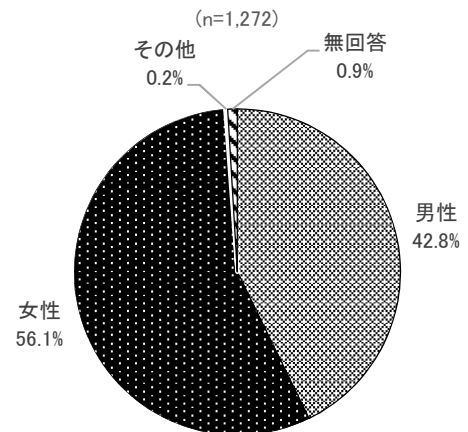
2 市民アンケート

基本項目

(1) 性別

回答者の性別の割合をみると、「男性」が42.8%、「女性」が56.1%であった。

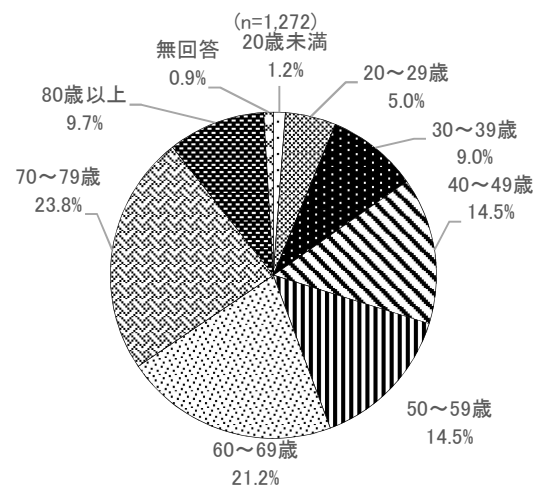
性別	人数	比率
男性	544 人	42.8%
女性	713 人	56.1%
その他	3 人	0.2%
無回答	12 人	0.9%
合計	1,272 人	100%



(2) 年齢

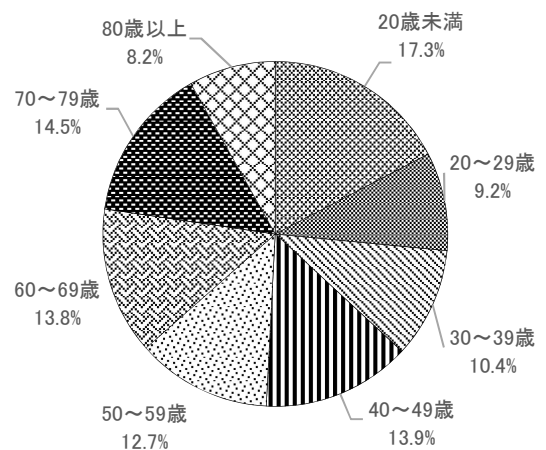
回答者の年代の割合をみると、「70～79 歳」が23.8%で最も多く、次いで「60～69 歳」が21.2%であった。

性別	人数	比率
20 歳未満	15 人	1.2%
20～29 歳	64 人	5.0%
30～39 歳	115 人	9.0%
40～49 歳	185 人	14.5%
50～59 歳	185 人	14.5%
60～69 歳	270 人	21.2%
70～79 歳	303 人	23.8%
80 歳以上	123 人	9.7%
無回答	12 人	0.9%
合計	1,272 人	100%



参考 亀岡市の人口構成

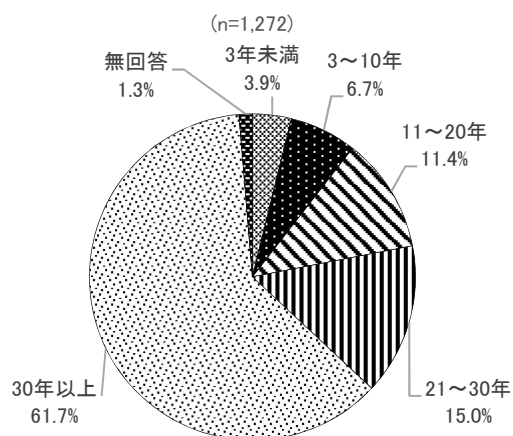
(令和2年11月1日現在、87,937人)



(3) 亀岡での居住年数

回答者の居住年数をみると、「30年以上」が61.7%で最も多く、次いで「21～30年」が15.0%、「11～20年」が11.4%であった。

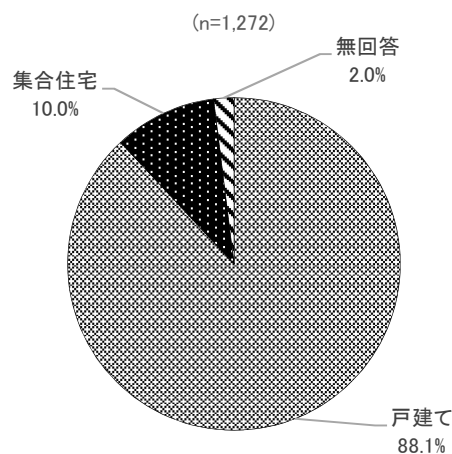
性別	人数	比率
3年未満	49人	3.9%
3～10年	85人	6.7%
11～20年	145人	11.4%
21～30年	191人	15.0%
30年以上	785人	61.7%
無回答	17人	1.3%
合計	1,272人	100%



(4) 居住形態

回答者の居住形態をみると、「戸建て」が88.1%で最も多く、次いで「集合住宅」が10.0%であった。

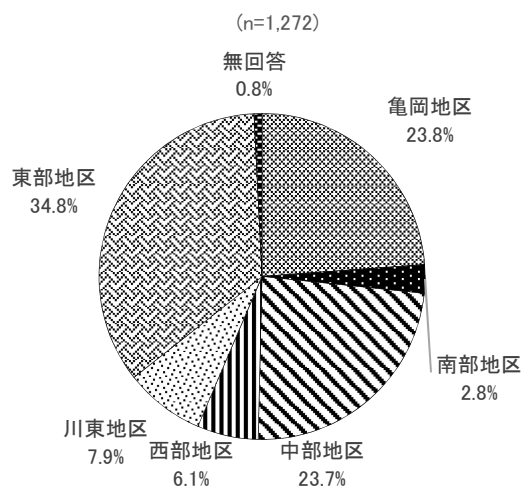
性別	人数	比率
戸建て	1120人	88.1%
集合住宅	127人	10.0%
無回答	25人	2.0%
合計	1,272人	100%



(5) お住まいの地区匿名

回答者の居住地区の割合をみると、「東部地区」が34.8%で最も多く、次いで「亀岡地区」が23.8%、「中部地区」が23.7%であった。

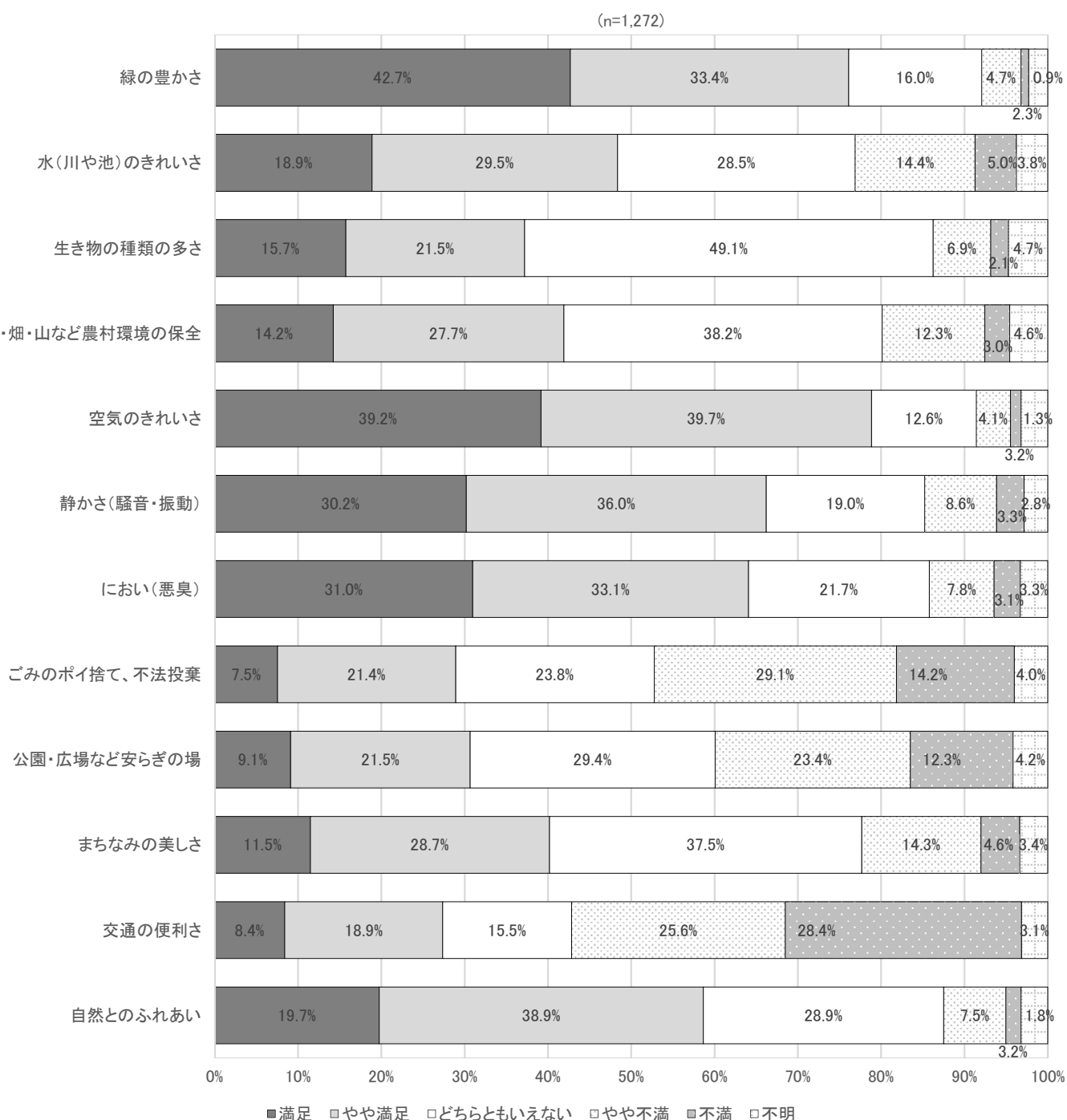
性別	人数	比率
亀岡地区	303人	23.8%
南部地区	36人	2.8%
中部地区	302人	23.7%
西部地区	77人	6.1%
川東地区	101人	7.9%
東部地区	443人	34.8%
無回答	10人	0.8%
合計	1,272人	100%



質問 1. あなたのお住まいの地区周辺の環境について、現状の満足度と改善の重要度（現状よりもよくした方が良く考える度合い）について、各項目にあてはまる番号を1つずつ選んで○印を記入してください。

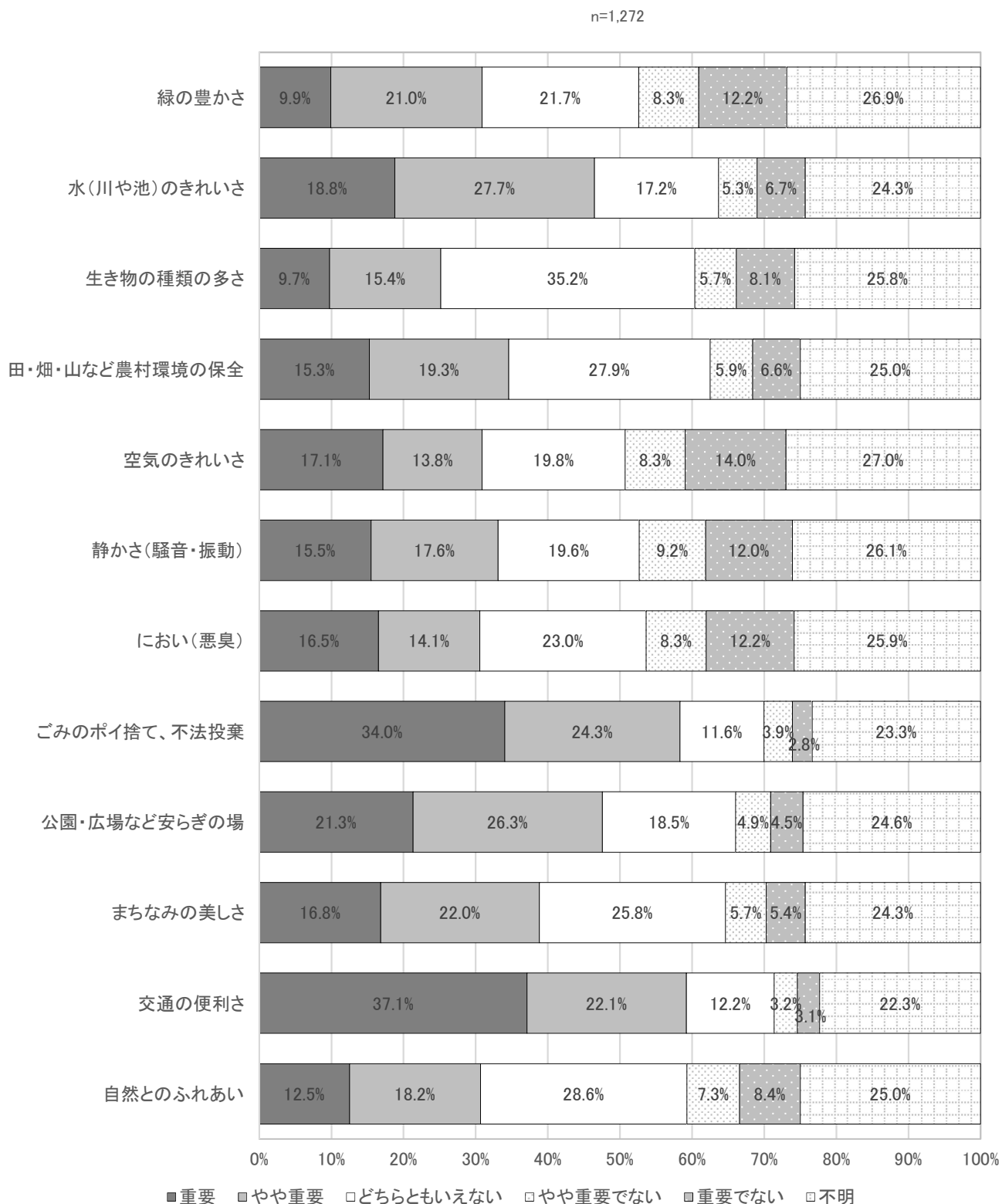
満足度

- 「満足」と答えた割合をみると、「緑の豊かさ」が42.7%で最も多く、次いで「空気のきれいさ」が39.2%、「におい」が31.0%であった。
- 「不満」と答えた割合をみると「交通の便利さ」が28.4%で最も多く、次いで「ごみのポイ捨て、不法投棄」が14.2%、「公園・広場など安らぎの場」が12.3%であった。



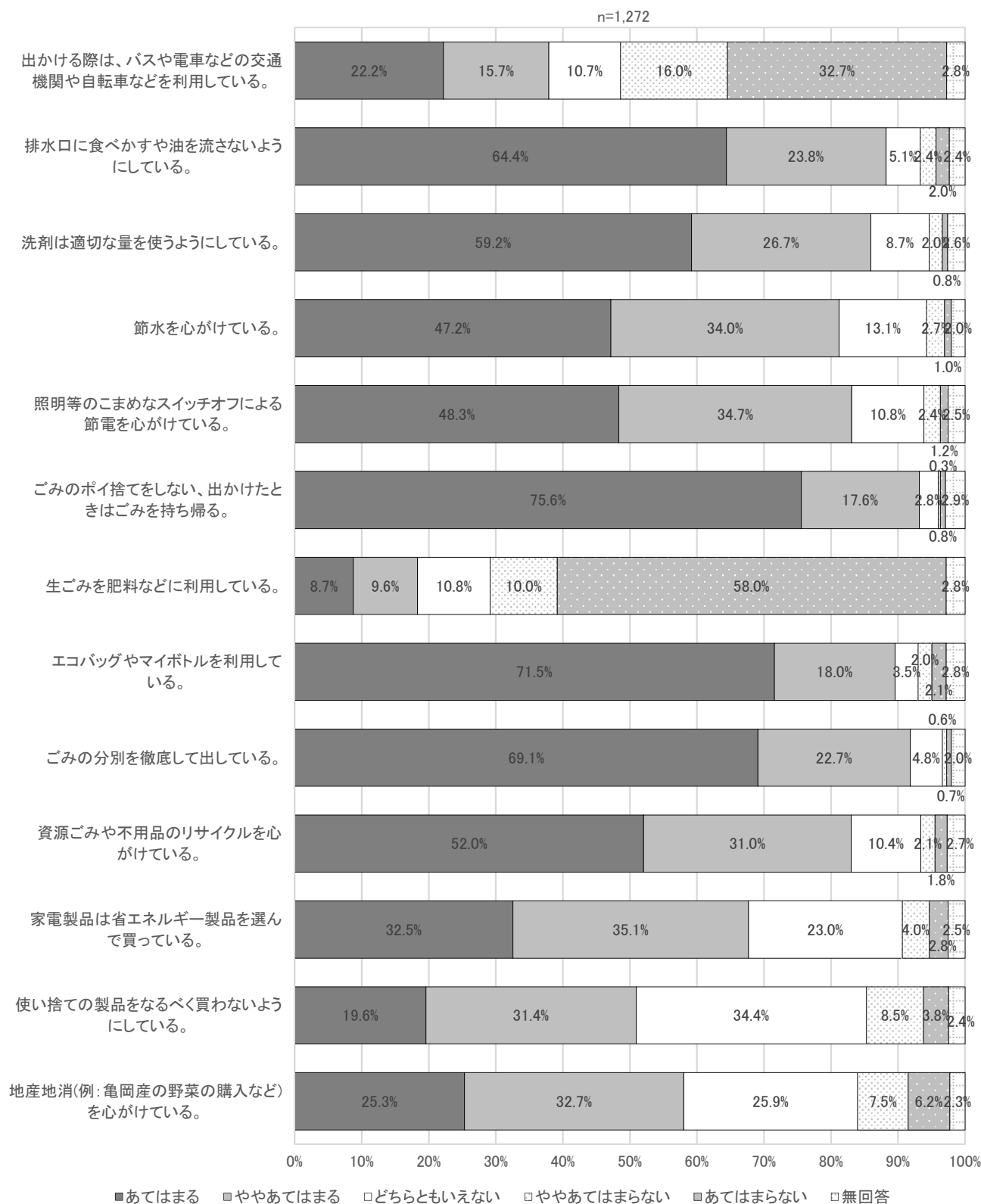
重要度

- 「重要」と答えた割合をみると、「交通の便利さ」が37.1%で最も多く、次いで「ごみのポイ捨て、不法投棄」が34.0%、「公園・広場など安らぎの場」が21.3%であった。
- 「重要でない」と答えた割合をみると「空気のきれいさ」が14.0%で最も多く、次いで「緑の豊かさ」と「におい」が12.2%と同率であった。



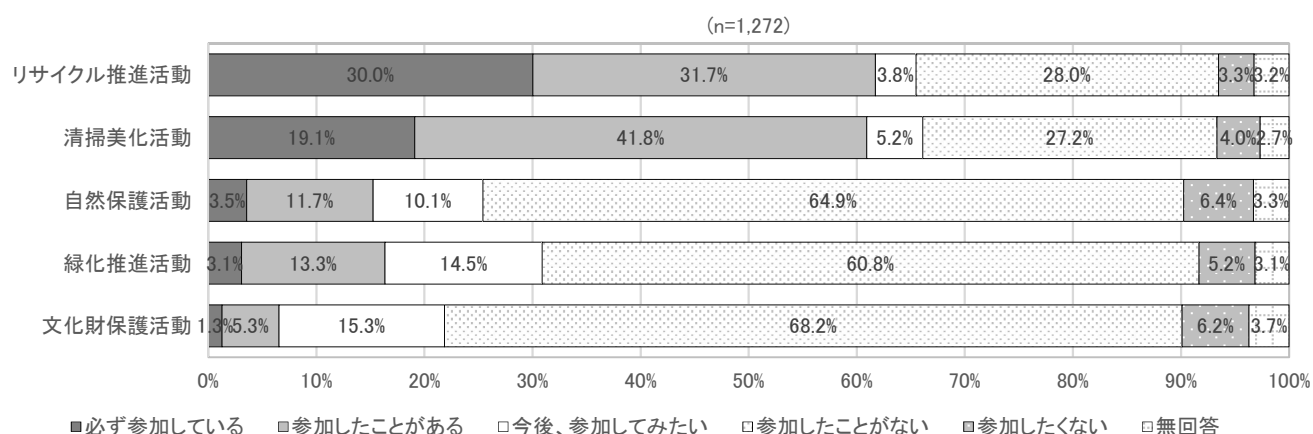
質問 2. 環境にやさしい取組として、あなたが日常生活で行っているものについて、各項目にあてはまる番号を1つ選んで○印を記入してください。

- 「あてはまる」、「ややあてはまる」と答えた割合が最も高いのは、「ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰る。」で 93.2%であった。
- 「ややあてはまらない」、「あてはまらない」と答えた割合が最も高いのは、「生ごみをたい肥などに利用している。」で 68.0%であった。



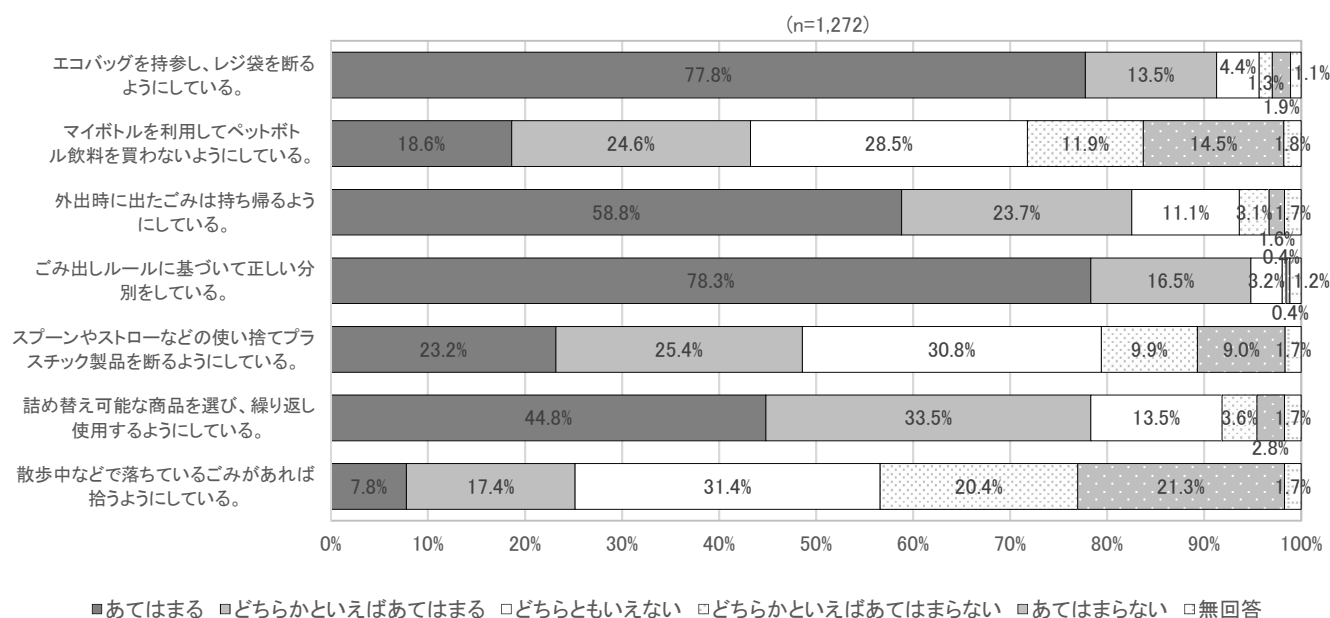
質問 3. あなたが取り組んでいる環境を守る活動への参加について、各項目にあてはまる番号を 1 つ選んで○印を記入してください。

- 「必ず参加している」、「参加したことがある」と答えた割合が最も高いのは、「リサイクル推進活動」で 61.7%と同率であった。
- 「自然保護活動」、「緑化推進活動」、「文化財保護活動」は 6 割以上の市民が参加したことがないとの回答であった。



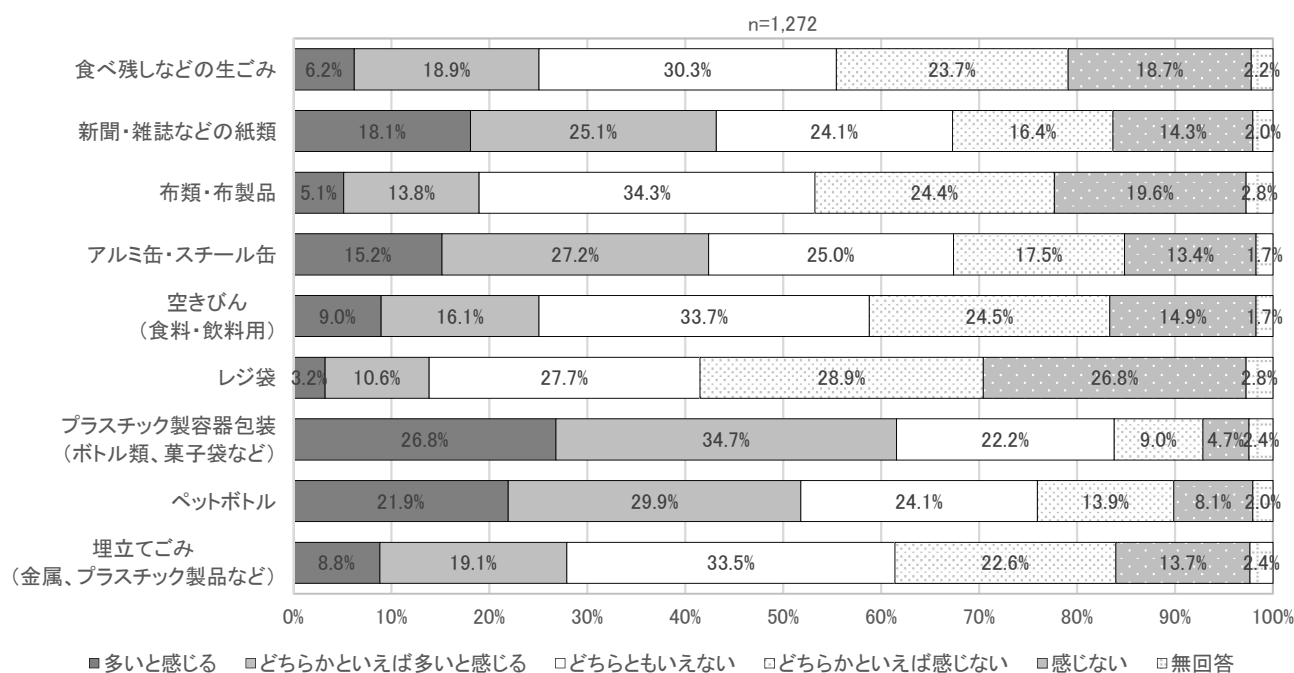
質問 4. 亀岡市では、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」により、2030 年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指しています。あなたが心がけていることについて、各項目にあてはまる番号を 1 つ選んで○印を記入してください。

- 「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」と答えた割合が最も高いのは、「ごみ出しルールに基づいて正しい分別をしている。」で 94.8%であった。
- 「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」と答えた割合が最も高いのは、「散歩中などで落ちているごみがあれば拾うようにしている。」で 41.7%であった。

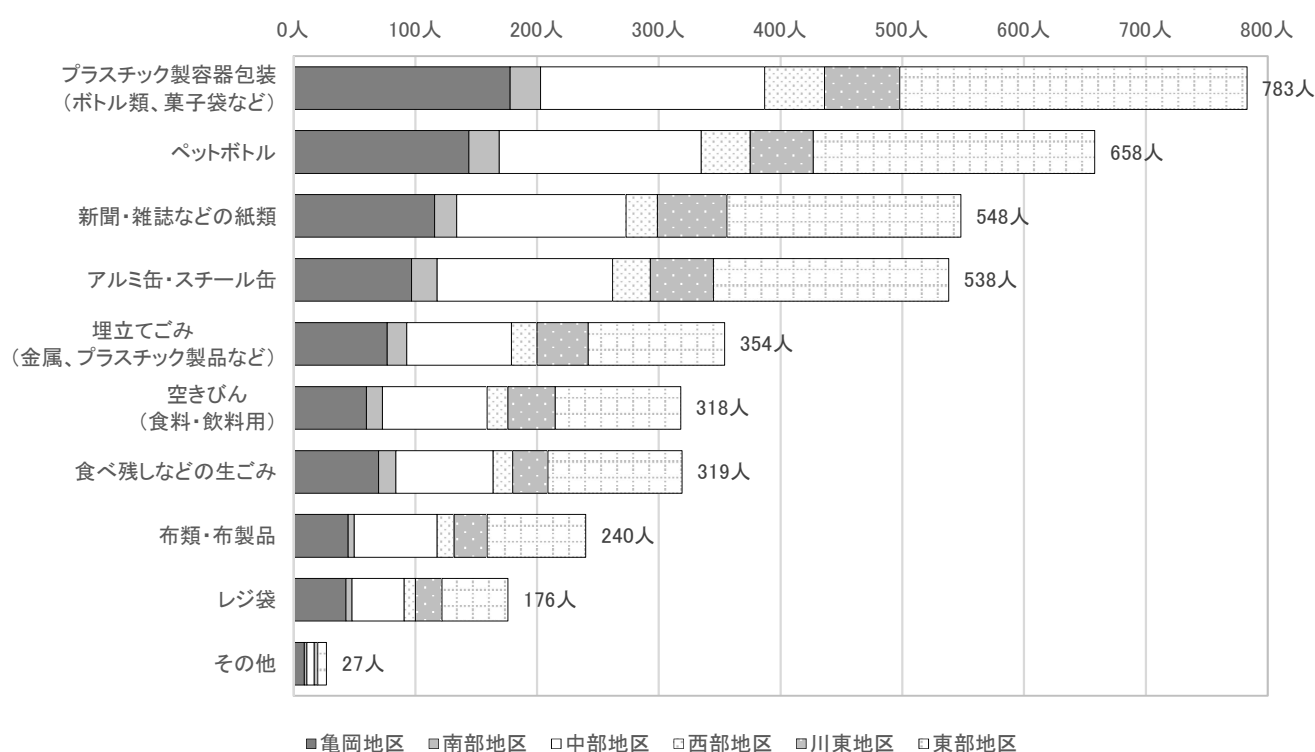


質問5. あなたが生活ごみ（資源ごみ、リサイクル品も含む）として出している物の中で、多いと感じるものがありますか。各項目にあてはまる番号を1つ選んで○印を記入してください。

- 「多いと感じる」、「どちらかといえば多いと感じる」と答えた割合が最も高いのは、「プラスチック製容器包装」で61.5%であった。
- 「どちらかといえば感じない」、「感じない」と答えた割合が最も高いのは、「レジ袋」で55.7%であった。
- 地区ごとでも「プラスチック製容器包装」が最も多く、「レジ袋」が最も少なかった。
- その他として、「布団類や食器類」という意見があった。

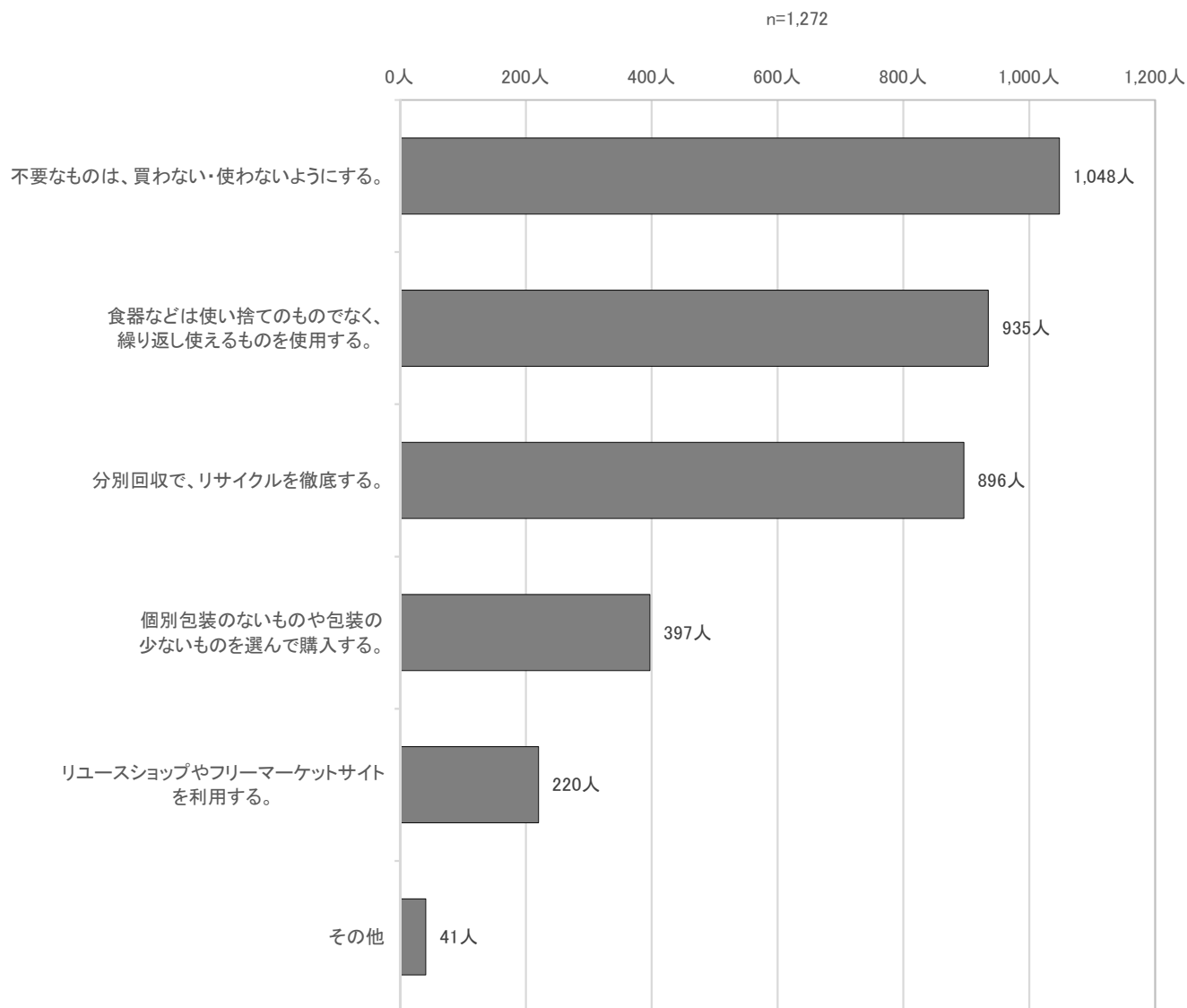


・地区ごとで「多いと感じる」、「どちらかといえば多いと感じる」と回答した人数



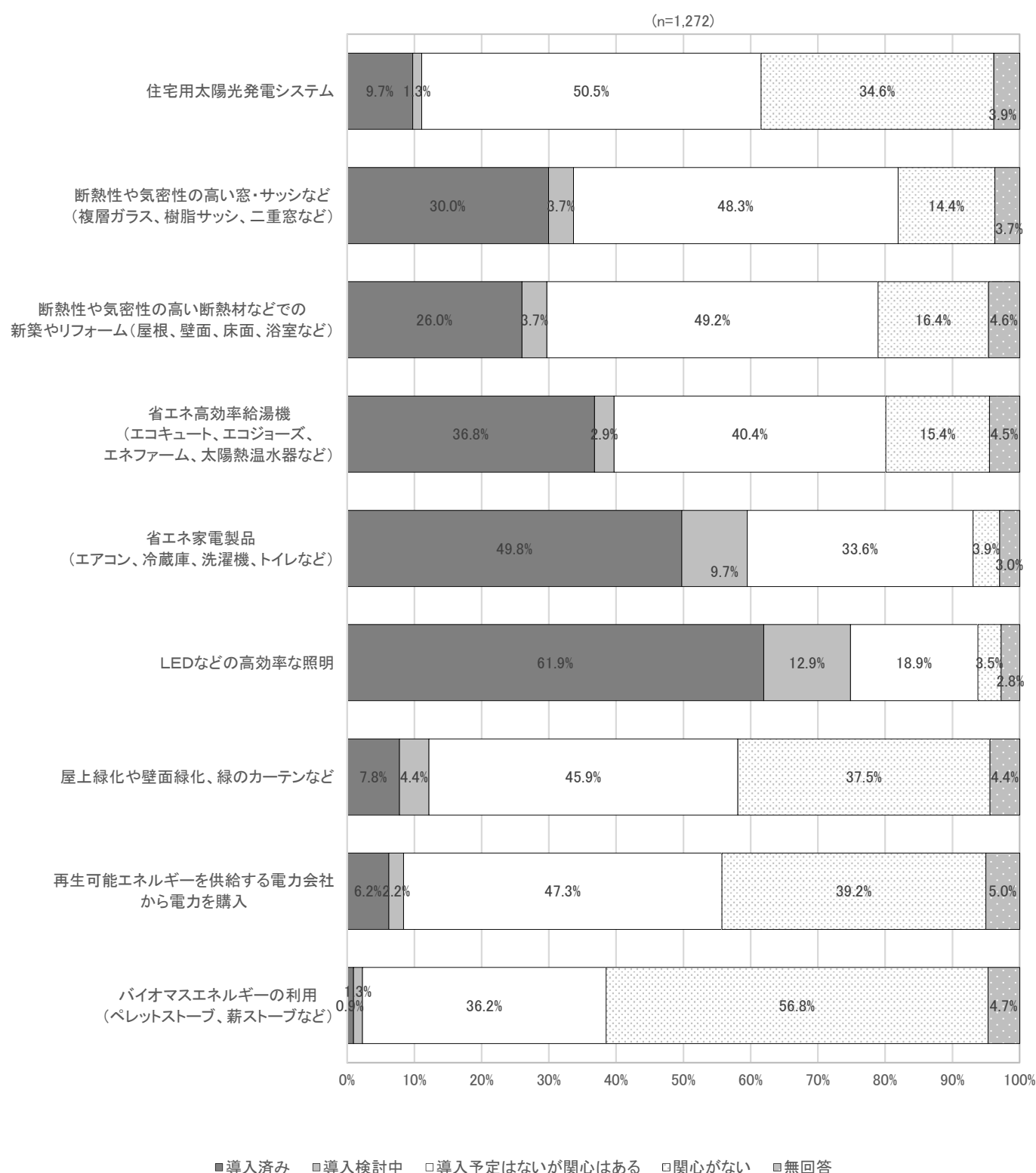
質問 6. ごみを減らすために、あなたは何が必要であると考えていますか。あてはまるものすべてに○印を記入してください。

- 「あてはまる」と答えた人が最も多いのは、「不要なものは、買わない・使わないようにする。」で1,048人でした。
- 「あてはまる」と答えた人が最も少ないのは、「リユースショップやフリーマーケットサイトを利用する。」で220人でした。
- その他として、「食事は多めに作らない。」「壊れても修理する。」という意見があった。



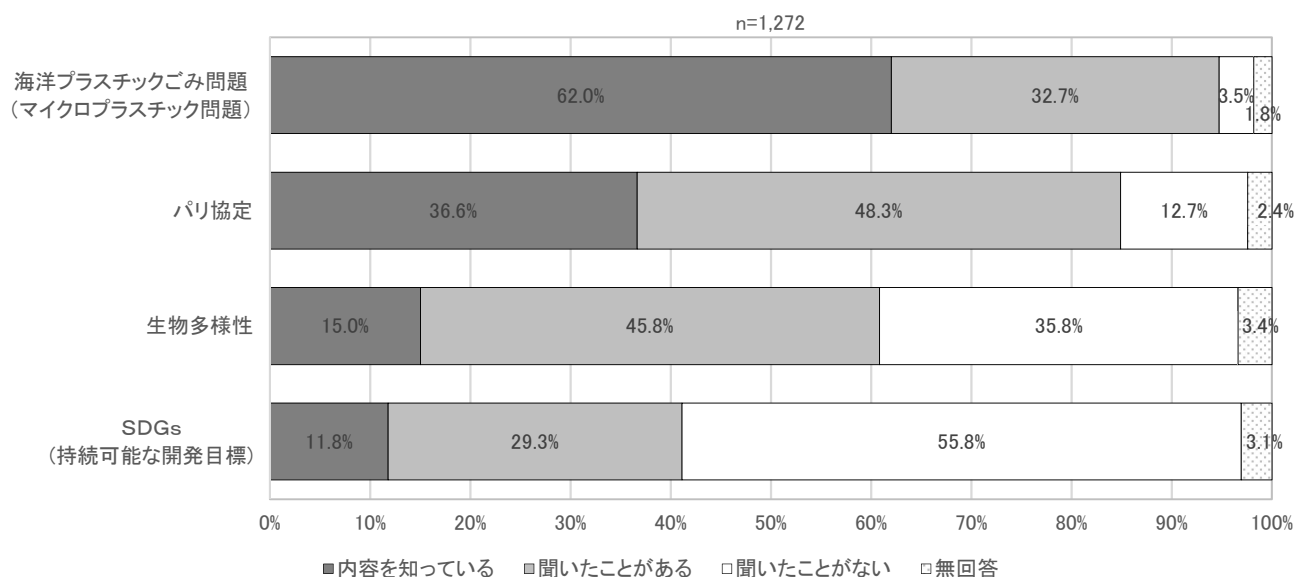
質問 7. 亀岡市では、地産地消のエネルギーの比率を増やすとともに、地球温暖化防止に貢献する持続可能な都市を目指しています。あなたのご家庭で再生可能エネルギーや省エネルギーのために導入しているものや導入に関心のあるものについて、各項目にあてはまる番号を 1 つ選んで○印を記入してください。

- 「導入済み」と答えた割合が最も高いのは、「LEDなどの効率な照明」で 61.9%であった。
- 「関心がない」と答えた割合が最も高いのは、「バイオマスエネルギーの利用」で 56.8%であった。



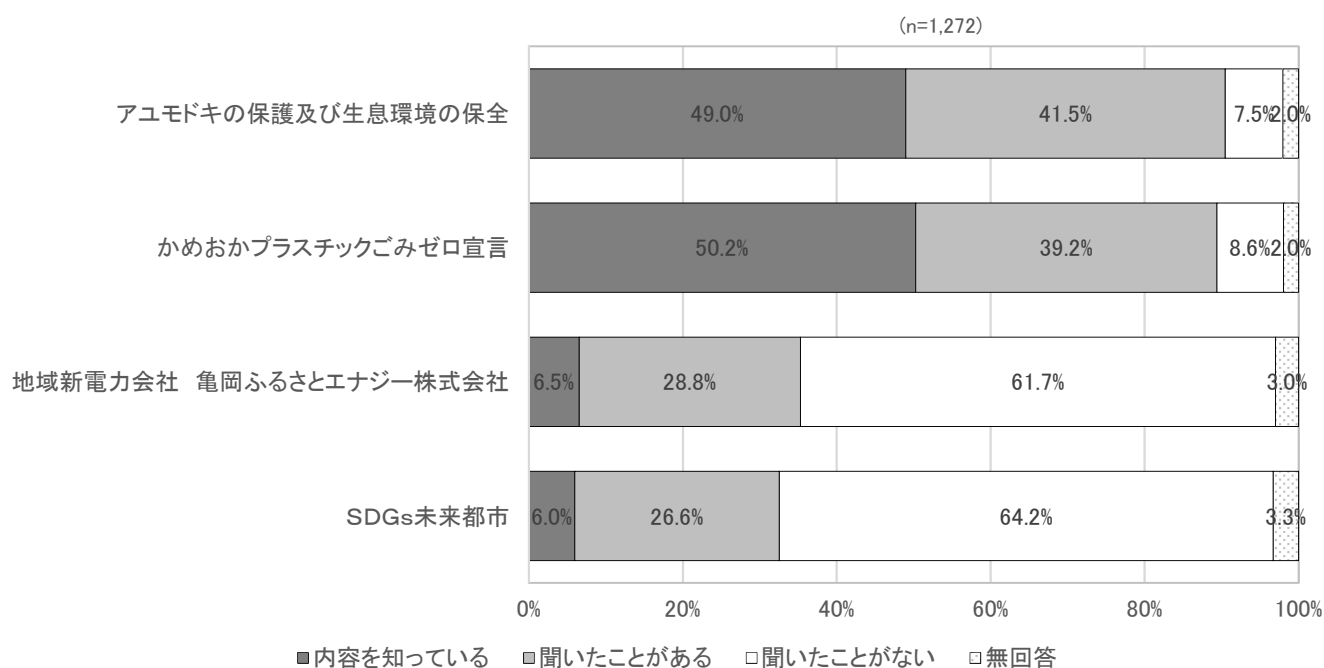
質問 8. あなたは、次に示す言葉をご存知ですか。各項目にあてはまる番号を 1 つ選んで○印を記入してください。

- 「内容と知っている」と答えた割合が最も高いのは、「海洋プラスチックごみ問題」で 62.0%であった。
- 「聞いたことがない」と答えた割合が最も高いのは、「SDGs」で 55.8%であった。



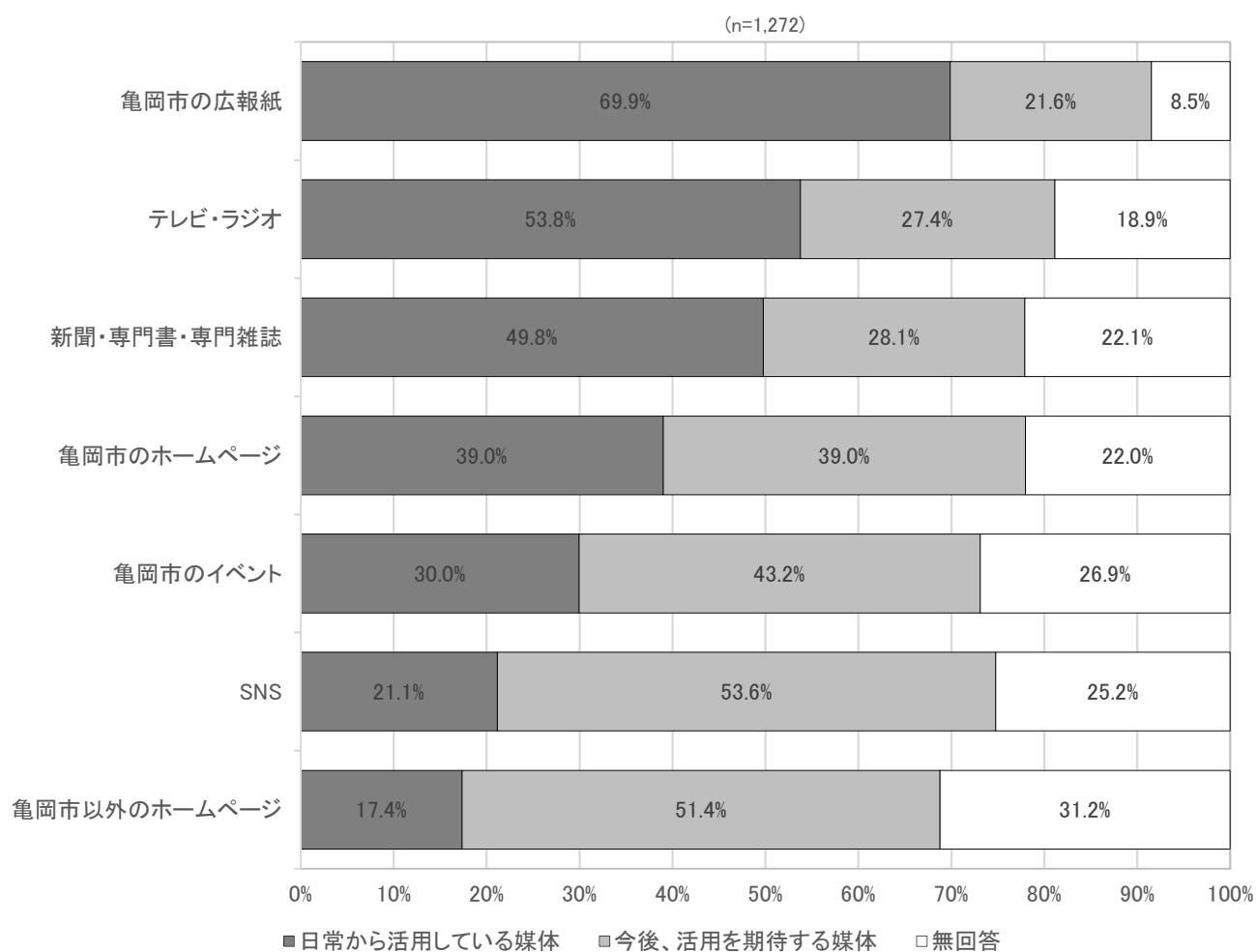
質問 8-1. 亀岡市が取り組んでいる次の環境施策をご存じですか。各項目にあてはまる番号を 1 つ選んで○印を記入してください。

- 「内容と知っている」と答えた割合が最も高いのは、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」で 50.2%であった。
- 「聞いたことがない」と答えた割合が最も高いのは、「SDGs 未来都市」で 64.2%であった。



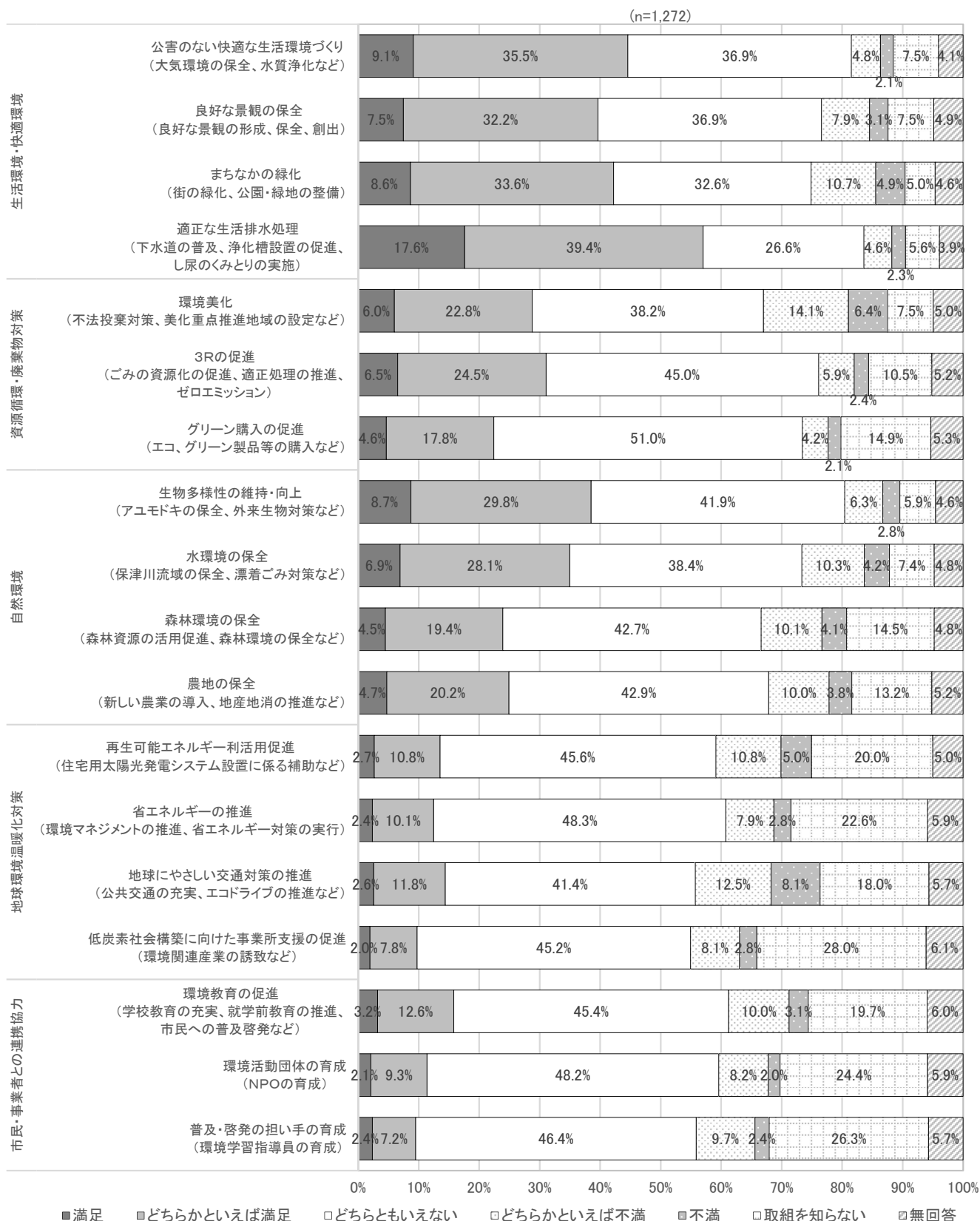
質問 9. あなたが普段から亀岡市の環境に関する情報を取得しやすい媒体や手法について、現在活用しているもの、今後活用を期待するものについて、各項目にあてはまる番号を1つ選んで○印を記入してください。

- 「日常から活用している媒体」と答えた割合が最も高いのは、「亀岡市の広報紙」で 69.9%であった。
- 「今後、活用を期待する媒体」と答えた割合が最も高いのは、「SNS」で 53.6%であった。
- その他として、「LINE」、「YouTube」という意見があった。



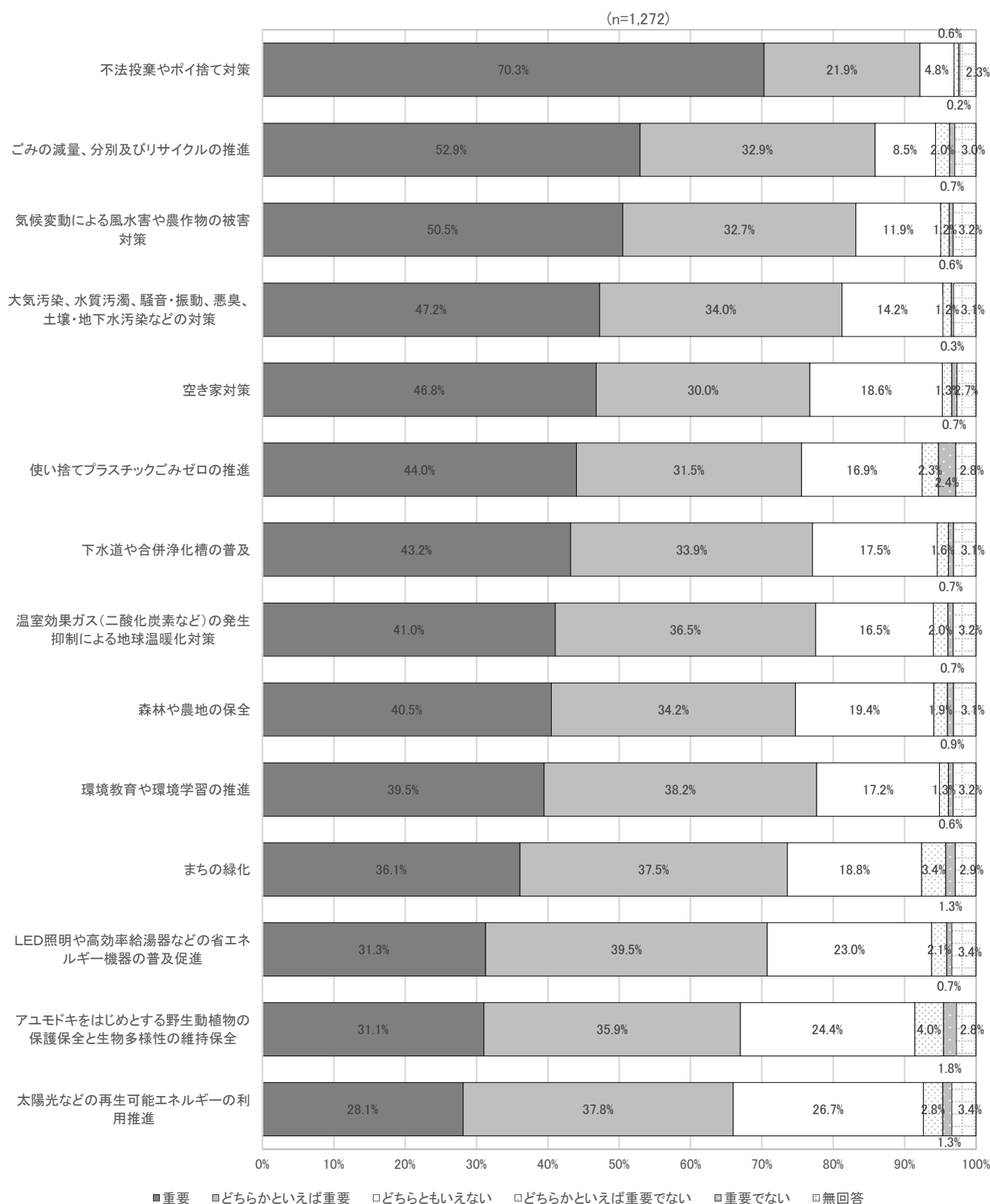
質問 10. 現在の亀岡市の取組の満足度について、各項目にあてはまる番号を1つ選んで○印を記入してください。

- 「満足」、「どちらかといえば満足」と答えた割合が最も高いのは、「適正な生活排水処理」で 57.0% であった。
- 「どちらかといえば不満」、「不満」と答えた割合が最も高いのは、「地球にやさしい交通対策の推進」で 20.6% であった。



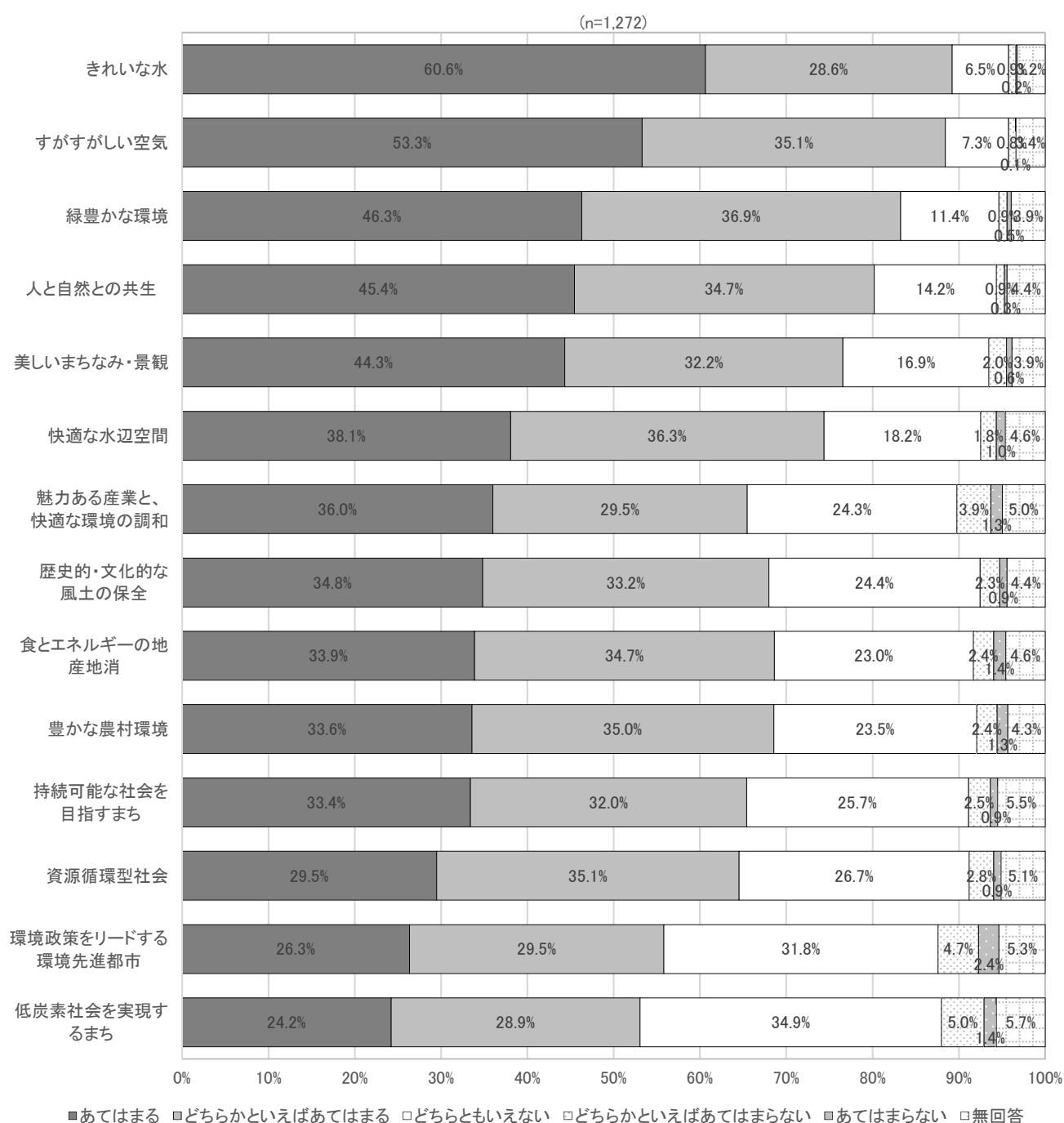
質問 11. 今後、亀岡市が取り組むべき環境施策についてどのようにお考えですか。各項目にあてはまる番号を1つ選んで○印を記入してください。

- 「重要」、「どちらかといえば重要」と答えた割合が最も高いのは、「不法投棄やポイ捨て対策」で92.2%であった。
- 「どちらかといえば重要でない」、「重要でない」と答えた割合が最も高いのは、「アユモドキをはじめとする野生動植物の保護保全と生物多様性の維持保全」で5.8%であった。
- その他として、「環境活動をする個人、団体、ボランティアの育成と支援」という意見があった。



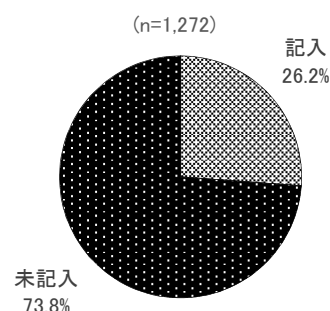
質問 12. 亀岡市では、亀岡市環境基本条例で、環境への負荷が少なく持続的発展が可能な社会、人と自然が共生し快適で住みよい社会を創出し、将来の世代に亀岡の豊かな環境を継承することを目指しており、第2次亀岡市環境基本計画では、こうした理念を踏まえ、「人と環境にやさしいまち かめおか」を目指すべき環境像として設定しました。将来、あなたが望む亀岡市の環境像について、各項目にあてはまる番号を1つ選んで○印を記入してください。

- 「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」と答えた割合が最も高いのは、「きれいな水」で89.2%であった。
- 「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」と答えた割合が最も高いのは、「環境政策をリードする環境先進都市」で7.1%であった。
- その他として、「交通安全対策」、「高齢者が安心して住めるまち」という意見があった。



質問 13. その他、亀岡市の環境に関する希望や、環境保全活動に取り組むことができるような仕組みやアイデアなど、環境に関するご意見がありましたらご自由にお書きください。

- 質問 13 の自由意見の項目を記入された回答者の割合は 26.2%であった。
- 記述内容については、「公園の整備」に関する意見が最も多かった。



主な意見

- ・ 保津川(上桂川)を含み、水辺、遊水地を利用して水辺で親しめる施設整備(サッカーグラウンド、キャンプ場)を進めて、休日レクリエーションなどの利用を推進して、環境都市へステップしてはどうですか。七谷川のキャンプ場、西山公園の整備、山の家、運動公園等、今あるものを再整備して、今流行のアウトドア、自然との交流など、今あるものを利用しやすい形、積極的に使ってもらう広報活動をして下さい。
- ・ 生活している中では国道9号線の渋滞の方を解消して欲しいです。排気ガスで空気が汚いと思います。また、国道423号線もまっすぐで走りやすい道になれば、新名神も利用しやすくなるし、大阪との交流も進んで活発になると思います。縦貫道と新名神が亀岡～箕面の辺りとなつなれば、亀岡や府北部地域が便利になり、観光客や移住者が増えそうだと思います。
- ・ 将来、子供たちに少しでも綺麗で豊かな環境を残すため、大人が理解するのはもちろんのこと、現状を知り、こういう対策を考えていかなければならないことを子供達にも伝え、教育していくことが大切になるのではないのでしょうか。
- ・ 幼稚園や保育園あるいは小学校での体験や学習に自然に触れ生活の中に取り入れる視点を持って、プログラムを考えること。土に触れたり、水に触れることを日常とした中で健康を実感できるような教育プログラムを大切にすること。これらを考える時に、環境や環境保全の大切さは教育と結び付けて考え取り組んでいくことが求められる。環境として取り組んだことの成果や実感が、子どもたちの育ちの中に現れてくると、大人も変えることができる。亀岡の良さ、すばらしい自然環境を児童生徒が見つめる学習を大切にして、子どもたちにこれからの亀岡がどうなっていきたいか、この環境を守っていくために何ができるか、何をすべきか、自分たちで考える機会も大切にして欲しい。中学校、高校とも連携して探求的な学習の中で、どんどん実践し、地元への愛情も同時に育んでいただけたらと切に願います。
- ・ 不法投棄のパトロールの強化と監視の強化
- ・ 食料品や生活用品のパッケージなど日常生活で紙リサイクルマークの付いている物がたくさんあります。亀岡市のリサイクルステーションも利用しますが、新聞紙や雑誌なので紙リサイクルマークが付いている紙類は燃やすゴミに出している現状です。プラゴミと同じように紙リサイクルマークが付いている物の分別が出来れば、燃やすゴミの量が減りエコにも繋がると思います。
- ・ 環境保全活動を行っていく上で知識と理解を深めていく事が大事なので研修や講演会などが市民にとって身近なものであってほしいと思います。また環境問題は、専門用語が多く分かりにくいので誰でも分かるようやさしい言葉で解説し、亀岡市の取り組みや市民が具体的に何をすれば良いか漫画やクイズ形式などで老若男女問わず理解できるようにすれば良いと思います。